

工 事 成 績 採 点 表 [完 了 ・ 中 間]

年 月 日 作成

【機関名】

工 事 名																	契約金額 (最終)					円 検 査 年 月 日		令 和 年 月 日										
請 負 人 名		全 体 工 期															令 和 年 月 日 ~ 令 和 年 月 日					完 了 年 月 日		令 和 年 月 日										
		監 督 員					主 任 または 総 括 監 督 員					検 査 職 員 (中 間)					検 査 職 員 (中 間)					検 査 職 員 (完 了)												
		氏 名					氏 名					氏 名					氏 名					氏 名												
考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																												
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																												
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0																					
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0																					
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																												
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2						+20.0 ~ 0																											
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3	+7.0 ~ 0																																
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0																							
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		± 点					± 点					± 点					± 点																	
評定点 (65点±加減点合計) ※1		① 点					② 点					③ 点					④ 点																	
評 定 点 計		_____ 点					○ 中間検査があった場合 : (① 点 × 0.4 + ② 点 × 0.2 + ③ 点 × 0.2 + ④ 点 × 0.2) = _____ 点 ※但し、③は中間検査が2回以上の場合には平均値 ○ 中間検査がなかった場合 : (① 点 × 0.4 + ② 点 × 0.2 + ④ 点 × 0.4) = _____ 点																											
7. 法令遵守等	※7						_____ 点																											
評定点合計		_____ 点					○ 評定点計 (_____ 点) - 法令遵守等 (_____ 点) = _____ 点																											
8. 総合評価 技術提案	技術提案履行確認						履 行 不 履 行 対 象 外																											
所 見		【 監 督 員 】										【 主 任 または 総 括 監 督 員 】										【 検 査 職 員 】												
		_____ ※5																																

※1 65点 + 1.~3.の評定 (加減点合計) + 4.~6.の評定 (加点合計) = 評定点
 各評定点 (①~④) は小数第1位まで記入する。
 ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件 (構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等) に対して適切に対応したことを評価する項目である。
 評価に際しては、監督員からの報告を受けて主任または総括監督員が評価するものとする。
 ※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。
 ※4 4.、5.、6. は加点評価のみとする。また、法令遵守等は、減点評価のみとする。
 ※5 所見は必ず記載する。
 ※6 各検査項目ごとの採点は、検査項目別運用表によるものとし、検査職員 (完了) の評価に先立ち、監督員・主任または総括監督員が行う。
 ※7 法令遵守等の評価は、主任または総括監督員が行う。
 ※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
 ※9 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は、『不履行』を選択する。

細目別評定点採点表

工事名								
考查項目	細別	①監督員	②主任または総括監督員	③検査職員(中間)	③検査職員(中間)	④検査職員(完了)	細目別評定点	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	() × 0.4 + 2.9 = 点					点 3.3点	
	II. 配置技術者	() × 0.4 + 2.9 = 点					点 4.1点	
2. 施工状況	I. 施工管理	() × 0.4 + 2.9 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	点 13.0点	
	II. 工程管理	() × 0.4 + 2.9 = 点	() × 0.2 + 3.2 = 点				点 8.1点	
	III. 安全対策	() × 0.4 + 2.9 = 点	() × 0.2 + 3.3 = 点				点 8.8点	
	IV. 対外関係	() × 0.4 + 2.9 = 点					点 3.7点	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	() × 0.4 + 2.8 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	点 14.9点	
	II. 品質	() × 0.4 + 2.9 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	点 17.4点	
	III. 出来ばえ			() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	点 8.5点	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		() × 0.2 + 3.3 = 点				点 7.3点	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	() × 0.4 + 2.9 = 点					点 5.7点	
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		() × 0.2 + 3.2 = 点				点 5.2点	
7. 法令遵守等			() × 1.0 = 点				点	
評定点合計							点	
100点								
8. 総合評価技術提案	技術提案履行確認		履行 不履行 対象外					

※ 中間検査があった場合 (①+②+③×0.5+④×0.5)=細目別評価点 (中間検査が2回以上の場合は③を平均する)

中間検査がなかった場合 (①+②+④)=細目別評価点

※ 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

※ 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は、『不履行』を選択する。

工 事 成 績 評 定 表

課・機関名：

工事番号および工事名										
契 約 金 額	当初					円	最終	円		
全 体 工 期	当初	令和	年	月	日	～	令和	年	月	日
	最終	令和	年	月	日	～	令和	年	月	日
完 了 年 月 日	令和		年	月	日					
完 了 検 査 年 月 日	令和		年	月	日					
中 間 検 査 年 月 日	第 1 回	令和	年	月	日					
	第 2 回	令和	年	月	日					
請 負 人 住 所 ・ 氏 名										
現 場 代 理 人 氏 名										
主 任 技 術 者 氏 名										
監 理 技 術 者 氏 名										
監 理 技 術 者 補 佐 氏 名										
総 括 監 督 員 職 名 ・ 氏 名										
主 任 監 督 員 職 名 ・ 氏 名										
監 督 員 職 名 ・ 氏 名										
完 了 検 査 職 員 所 属 ・ 職 名 ・ 氏 名										
中 間 検 査 職 員 所 属 ・ 職 名 ・ 氏 名										
中 間 検 査 職 員 所 属 ・ 職 名 ・ 氏 名										
① 監 督 員 評 定 点								点		
② 主 任 又 は 総 括 監 督 員 評 定 点								点		
③ 中 間 検 査 職 員 評 定 点								点		
④ 完 了 検 査 職 員 評 定 点								点		
⑤ 法 令 遵 守 等								点		
⑥ 評 定 点 合 計								点		

注 1) 中間検査があった場合

$$\text{評定点合計⑥} = (\text{①} \times 0.4 + \text{②} \times 0.2 + \text{③} \times 0.2 + \text{④} \times 0.2) - \text{⑤}$$

中間検査がなかった場合

$$\text{評定点合計⑥} = (\text{①} \times 0.4 + \text{②} \times 0.2 + \text{④} \times 0.4) - \text{⑤}$$

- 2) 中間検査が 2回以上あった場合、評定点は中間検査平均点を記入する。
- 3) 一部完成の場合は、監督員、主任または総括監督員及び検査職員が各々評定を行い、完了の際に、完了検査時の評定点と金額により加重平均を行い記入する。
- 4) 監督員、主任または総括監督員、検査職員の評定点は小数第 1位までとする。
- 5) 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- 6) ⑤法令遵守等は、主任または総括監督員が記入する。

考査項目別運用表(建築工事)

監督員用(1)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<input type="checkbox"/> ①作業の分担の範囲が、下請け業者を含め書面に明確に記載されている。 <input type="checkbox"/> ②品質管理体制が、書面に適切に記載されている。 <input type="checkbox"/> ③安全管理体制が、書面に適切に記載されている。 <input type="checkbox"/> ④現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。 <input type="checkbox"/> ⑤工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。 <input type="checkbox"/> ⑥建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請負業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> ⑦元請業者が下請け業者の施工結果を十分に検査している。 <input type="checkbox"/> ⑧現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施している。 <input type="checkbox"/> ⑨「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い、または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> ⑩その他 理由:	(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評 価			
a: 施工体制が優れている。 b: 施工体制が良好である。 c: 施工体制が適切である。 d: 施工体制がやや不適切である。 e: 施工体制が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が60%以上80%未満 c	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%未満 d		
	評価=	項	項目 %

監督員用(2)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
1. 施工体制	II. 配置技術者 (現場代理人等)	<input type="checkbox"/> ①現場代理人として工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> ②現場代理人として監督職員への報告、協議等を書面で行っている。 <input type="checkbox"/> ③契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> ④建設工事請負契約約款(以下、「契約約款」という。)第18条(条件変更等)第1項に基づく設計図書の照査を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑤書類及び資料が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> ⑥作業環境、気象、地質条件等の把握および対応に努めている。 <input type="checkbox"/> ⑦工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> ⑧作業に必要な主任技術者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> ⑨主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。 <input type="checkbox"/> ⑩施工体制、施工状況を把握し、下請、部下等をよく指導している。 <input type="checkbox"/> ⑪施工等に伴う提案または工夫をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> ⑫「施工プロセス」チェックリストのうち、配置技術者/現場代理人/監理技術者/主任技術者について指示事項がない、または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> ⑬その他 理由:	(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評 価			
a: 配置技術者として優れている。 b: 配置技術者として良好である。 c: 配置技術者として適切である。 d: 配置技術者としてやや不適切である。 e: 配置技術者として不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が60%以上80%未満 c	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%未満 d		
	評価=	項	項目 %

※1. 建築一式工事を施工する場合において、一式工事の内容である他の建設工事(専門工事)を自ら施工する時は、当該専門工事に関し資格を有する者を置くものとする。なお、主任技術者が当該専門工事の資格を有していれば、専門技術者を兼ねることができる。

※2. 作業主任者を選任すべき作業は、労働安全衛生法施行令第6条による。

審査項目別運用表(建築工事)

監督員用(3)

審査項目	細 別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ①契約約款第18条第1項に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。 <input type="checkbox"/> ②施工計画書が工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。 <input type="checkbox"/> ③施工計画書が設計図書および現場条件を反映した内容となっている。 <input type="checkbox"/> ④施工計画書に出来形、品質確保のための記載がある。 <input type="checkbox"/> ⑤施工計画書に基づき、日常の出来形、品質の管理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> ⑥施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく調整が十分に図られている。 <input type="checkbox"/> ⑦工事打合せ書等の工事記録の整備が適時に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑧施工計画書の記載内容と、現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> ⑨一工程の施工の検査・確認の報告が適時に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑩現場内での整理整頓が日常的に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑪使用する建築材料(以下「材料」という。)・設備機材(以下「機材」という。)の調達計画および搬入後の管理が適切である。 <input type="checkbox"/> ⑫社内検査が計画的に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑬独自のチェックリスト等の管理基準により管理されている。 <input type="checkbox"/> ⑭低騒音、低振動および排出ガス対策型の建設機材および車両を使用している。 <input type="checkbox"/> ⑮建設廃棄物の処分および建設副産物のリサイクルへの取り組みが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑯「施工プロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項がない、または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> ⑰その他 理由:
			(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評 価			
a: 施工管理が優れている。 b: 施工管理が良好である。 c: 施工管理が適切である。 d: 施工管理がやや不適切である。 e: 施工管理が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が60%以上80%未満 c	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%未満 d		
	評価=	項	項目 %

監督員用(4)

審査項目	細 別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ①実施工程表が工事着工前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。 <input type="checkbox"/> ②現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。 <input type="checkbox"/> ③工程のフォローアップを実施し、受注者の責により関連工事および入居機関等に対し影響を及ぼす工程の遅れがない。 <input type="checkbox"/> ④現場または施工条件の変更への対応が積極的で処理が早い。 <input type="checkbox"/> ⑤工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑥受注者の責による夜間や休日の作業がない。 <input type="checkbox"/> ⑦休日・代休の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑧近隣住民(施設管理者等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を図っている。 <input type="checkbox"/> ⑨「施工プロセス」チェックリストのうち、工程管理について指示事項がない、または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> ⑩その他 理由:
			(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評 価			
a: 工程管理が優れている。 b: 工程管理が良好である。 c: 工程管理が適切である。 d: 工程管理がやや不適切である。 e: 工程管理が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が60%以上80%未満 c	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%未満 d		
	評価=	項	項目 %

考査項目別運用表(建築工事)

監督員用(7)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ①承諾図等が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②施工図等が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ③現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> ④施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> ⑤出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥出来形の管理方法を工夫している。 <input type="checkbox"/> ⑦解体または撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。 <input type="checkbox"/> ⑧不可視部分となる出来形が工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨その他 理由：
		<input type="checkbox"/>	(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
評 価			
a: 出来形が優れている。 b: 出来形が良好である。 c: 出来形が適切である。 d: 出来形がやや不適切である。 e: 出来形が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	<input type="checkbox"/>	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100
該当項目が80%以上90%未満 b	<input type="checkbox"/>	
該当項目が60%以上80%未満 c	<input type="checkbox"/>	
該当項目が60%未満 d	<input type="checkbox"/>	
評価＝		項	項目 %

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量ならびに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

監督員用(8)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	II. 品質 建築工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ①材料・製品の品質が製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②品質確認記録の内容が適切である。 <input type="checkbox"/> ③施工の各段階における完了時の品質が適切である。 <input type="checkbox"/> ④躯体工事における施工の品質が良好である。 <input type="checkbox"/> ⑤内外仕上工事における施工の品質が良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 理由：
		<input type="checkbox"/>	(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
評 価			
a: 品質が優れている。 b: 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	<input type="checkbox"/>	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100
該当項目が80%以上90%未満 b	<input type="checkbox"/>	
該当項目が60%以上80%未満 c	<input type="checkbox"/>	
該当項目が60%未満 d	<input type="checkbox"/>	
評価＝		項	項目 %

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質および品質管理に関する各種の記録と設計図書を比較することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルト方式等で建築工事、電気設備工事、給排水冷暖房設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種ごとに評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事費率は1.0とする。

考査項目別運用表(建築工事)

監督員用(9)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	II. 品質 電気設備工事	□	<input type="checkbox"/> ①機材の品質が承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験方法および記録の方法が適切である。 <input type="checkbox"/> ③品質確認記録の内容が適切である。 <input type="checkbox"/> ④システムの性能および機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ⑤機材および施工の品質が良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 理由：
	工事比率 1.00		(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
評 価			
a:品質が優れている。 b:品質が良好である。 c:品質が適切である。 d:品質がやや不適切である。 e:品質が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が60%以上80%未満 c	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%未満 d		
	評価 =	項	項目 %

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事的目的物の品質および品質管理に関する各種の記録と設計図書を比較することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルト方式等で建築工事、電気設備工事、給排水冷暖房工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種ごとに評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事費率は1.0とする。

監督員用(10)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	II. 品質 給排水冷暖房工事	□	<input type="checkbox"/> ①機材の品質が承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②品質確認記録の内容が適切である。 <input type="checkbox"/> ③施工の各段階における完了時の試験方法および記録の方法が適切である。 <input type="checkbox"/> ④システムの性能および機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ⑤機材および施工の品質が良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 理由：
	工事比率 1.00		(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
評 価			
a:品質が優れている。 b:品質が良好である。 c:品質が適切である。 d:品質がやや不適切である。 e:品質が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が60%以上80%未満 c	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%未満 d		
	評価 =	項	項目 %

※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業における機械器具設置工事をいう。

※2. 目的物の品質の水準を評価すること。

※3. 品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事的目的物の品質および品質管理に関する各種の記録と設計図書を比較することにより技術的な評価を行う。

※4. デザインビルト方式等で建築工事、電気設備工事、給排水冷暖房工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種ごとに評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事費率は1.0とする。

品質の評価計＝	項目 %
---------	------

別紙-1

考査項目別運用表(建築工事)

(創意1/2)

監督員用(11)

考査項目・細別		対象	評価対象項目
5. 創意工夫	■準備・後片付け関係	<input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他 理由:	
		詳細評価内容:	
	■施工関係	<input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 <input type="checkbox"/> 工場加工製品等の活用による副産物および廃棄物の減少、または、リサイクルに対する積極的な取り組み <input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫 <input type="checkbox"/> 電気設備工事等の配線・配管等の工夫 <input type="checkbox"/> 給排水冷暖房設備工事等の配管・ダクト等の工夫 <input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 仮排水・仮道路・迂回路等の計画・施工の工夫 <input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 型枠・足場・山留等の仮設関係の工夫 <input type="checkbox"/> 施工管理および品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫 <input type="checkbox"/> 仮設施工等の工夫 <input type="checkbox"/> 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫 <input type="checkbox"/> 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> その他 理由:	
	詳細評価内容:		
	■品質関係	<input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 解体工事の品質管理の工夫 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 品質記録方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他 理由:	
	詳細評価内容:		

考査項目別運用表(建築工事)

主任・総括監督員用(1)

考査項目	細 別	評価対象項目
2. 施工状況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> ①現場または施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ②隣接または同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> ③近隣住民(入居機関等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ④配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> ⑤その他 理由:
		詳細評価内容:
		a: 工程管理が優れている。 b: 工程管理が良好である。 c: 工程管理が適切である。 d: 工程管理がやや不適切である。 e: 工程管理が不適切である。
		評価= 評価選択 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/> e ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して a、b、c、d、e 評価を行う
2. 施工状況	III. 安全対策	<input type="checkbox"/> ①建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> ②安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ③安全衛生管理活動が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> ④安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑤安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑥その他 理由:
		詳細評価内容:
		a: 安全対策が優れている。 b: 安全対策が良好である。 c: 安全対策が適切である。 d: 安全対策がやや不適切である。 e: 安全対策が不適切である。
		評価= 評価選択 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/> e ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して a、b、c、d、e 評価を行う
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<input type="checkbox"/> ①災害時等に地域への救援活動等に協力した。 <input type="checkbox"/> ②周辺地域の環境保全、生物保護等について具体的な対策をした。 <input type="checkbox"/> ③現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> ④広報活動や現場見学会等を実施して地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> ⑤地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 <input type="checkbox"/> ⑥その他 理由:
		詳細評価内容:
		a: 地域への貢献が優れている。 a': 地域への貢献がやや優れている。 b: 地域への貢献が良好である。 b': 地域への貢献がやや良好である。 c: 他の評価に該当しない。
		評価= 評価選択 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a' <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b' <input type="checkbox"/> c ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して a、b、c、d、e 評価を行う

※1. 主任・総括監督員は、監督員の意見を参考に総合的な評価を行う。

※2. 評価にあたっては、評価対象項目レ点の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。

※3. 地域への貢献等とは、工事の施工に伴って地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。

※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容および効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

審査項目別運用表(建築工事)

(特性1/3)

主任・総括監督員用(2)

審査項目	細別	評価対象項目
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	■建物規模への対応	※下記の対応事項に1つ以上のレ点がつけば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 延べ面積 10,000㎡以上の建物 <input type="checkbox"/> 地上9階以上または建物高さ 31m以上の建物 <input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物 <input type="checkbox"/> その他 理由: 詳細評価内容:
	評点= 点	
	■建物固有の機能の難しさへの対応	※下記の対応事項に1つ以上のレ点がつけば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 対象建物の耐震レベル <input type="checkbox"/> 建物機能の特殊性 <input type="checkbox"/> その他 理由: [評価技術事例] ・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において I 類およびA類に属する工事 ・電気または給排水冷暖房工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備のある建物 詳細評価内容:
評点= 点		※下記の対応事項に1つ以上のレ点がつけば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 建築材料、設備機材、工法について提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】 <input type="checkbox"/> 設計条件として工法、材料および設備システム(機材を含む)の特殊性 <input type="checkbox"/> 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合 <input type="checkbox"/> その他 理由: [評価技術事例] ・パイロット工事または特殊な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法および材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留工法が必要な工事 ・敷地内または周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行う工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事 詳細評価内容:
評点= 点		

考査項目別運用表(建築工事)

(特性2/3)

主任・総括監督員用(3)

考査項目	細 別	評価対象項目
4. 工事特性 (施工条件等への 対応)	■ 厳しい自然・地盤 条件への対応	※下記の対応事項に1つ以上のレ点がつけば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) <input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持地盤の影響 <input type="checkbox"/> 雨・雪・風・気温等の影響 <input type="checkbox"/> その他 理由： [評価技術事例] ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液化化対策工事や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 詳細評価内容：
	評点＝ 点	
	■ 厳しい周辺環境、 社会条件との対応	※下記の対応事項に1つ以上のレ点がつけば2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 地中埋設物等の作業障害 <input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 <input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> その他 理由： [評価技術事例] ・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を必要とする工事 ・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事 ・住居専用地域等で騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・有線電気通信法による届け出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事 詳細評価内容：
	評点＝ 点	

(特性3/3)

主任・総括監督員用(4)

考査項目	細 別	評価対象項目
4. 工事特性 (施工条件等への 対応)	■ 施工現場での対応	※下記の対応事項に1つ以上のレ点がつけば4点の加点とし、最大10点とする。 【長期工事における安全確保への対応】 <input type="checkbox"/> 12ヶ月を超える工期で事故がなく完成した工事(ただし、全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 <input type="checkbox"/> 地震、台風などにおいて適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工、工法等】 <input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 <input type="checkbox"/> 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 <input type="checkbox"/> 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 <input type="checkbox"/> 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事 <input type="checkbox"/> 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 <input type="checkbox"/> 特殊な室などで工種が輻輳し、困難な調整を要する工事 <input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工および機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 <input type="checkbox"/> 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> その他 理由： 詳細評価内容：
	評点＝ 点	

- ※1. 工事特性は、最大20点の加点とする。なお、1項目に複数の内容がある場合または、対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えてもよい。
- ※2. 主任監督員が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、監督員の意見も参考に評価する。
- ※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

考査項目別運用表(建築工事)

主任・総括監督員用(5)

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
7. 法令遵守等	点数	措置内容
	○	該当なし
	○ -20点	1. 指名停止3ヶ月以上
	○ -15点	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満
	○ -13点	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満
	○ -10点	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満
	○ -8点	5. 文書注意
	○ -5点	6. 口頭注意
	○ -3点	7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微であり、口頭注意以上の処分がなかった場合(措置なしとした案件。なお、もらい事故や交通事故は該当しない。)
	□ 0点	8. 総合評価落札方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われない場合等
	□ 0点	9. その他 [理由:]
<p>①本考査項目(7. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表1から7の措置があった」場合に適用する。</p>		
<p>②「工事施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p>		
<p>③「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員および②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p>		
<p>④口頭注意未満の処分を受けた後、事故および災害等において安全対策の改善が見られない場合(主任または総括監督員からの文書注意、口頭注意等)は、主任または総括監督員の評価対象項目である安全対策において減点をする。</p>		
<p>⑤総合評価落札方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われない場合は、上表8により工事成績評定点を減点する。減点数は入札説明書等によるものとする。</p>		
<p>評価選択 <input type="checkbox"/> 履行 <input type="checkbox"/> 不履行 <input type="checkbox"/> 対象外</p> <p>履行 : 総合評価時の提案どおりに実施された</p> <p>不履行 : 総合評価時の提案の不履行があった</p> <p>対象外 : 総合評価時の提案の対象外</p>		
<p>【上記で評価する場合の適応事例】</p>		
<p>1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。</p>		
<p>2. 承諾なしに権利または義務を第三者に譲渡または承継した。</p>		
<p>3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</p>		
<p>4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</p>		
<p>5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。</p>		
<p>6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</p>		
<p>7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</p>		
<p>8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</p>		
<p>9. 監督または検査の実施を不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</p>		
<p>10. 下請代金を期日以内に行っていない。不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</p>		
<p>11. 過積載等の道路交通法違反により逮捕または送検等された。</p>		
<p>12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</p>		
<p>13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記載されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</p>		
<p>14. 安全管理の措置が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆損害事故を起こ</p>		

考査項目別運用表(建築工事)

検査職員用(1)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ① 契約約款第18条第1項に基づく設計図書の照査結果を適切に処理していることが確認できる。 ② 施工計画書が設計図書および現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。 ③ 施工計画書に出来形、品質管理のための記載があり、管理のための方法が確認できる。 ④ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 ⑤ 工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。 ⑥ 使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。 ⑦ 一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。 ⑧ 建設廃棄物の処分および建設副産物等のリサイクルへの取り組みが適切に行われていることが確認できる。 ⑨ 社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。 ⑩ 独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。 ⑪ 工事の関係書類および資料整理がよい。 ⑫ その他 理由：	(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評 価
a: 施工管理が優れている。 b: 施工管理が良好である。 c: 施工管理が適切である。 d: 施工管理がやや不適切である。 e: 施工管理が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が60%以上80%未満 c	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%未満 d		
	評価=	項	項目 %

検査職員用(2)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ① 承諾図等が設計図書を満足していることが確認できる。 ② 施工図等が設計図書を満足していることが確認できる。 ③ 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 ④ 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 ⑤ 出来形の管理が、工夫されていることが確認できる。 ⑥ 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 ⑦ 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 ⑧ 不可視部分となる出来形が工事写真、施工記録により確認できる。 ⑨ 解体または撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 ⑩ その他 理由：	(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
			評 価
a: 出来形が特に優れている。 a': 出来形が優れている。 b: 出来形が特に良好である。 b': 出来形が良好である。 c: 出来形が適切である。 d: 出来形がやや不適切である。 e: 出来形が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 a'	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が70%以上80%未満 b	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%以上70%未満 b'		
該当項目が50%以上60%未満 c		
該当項目が50%未満 d		
	評価=	項	項目 %

*1. 出来形の対象は、「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事的物の形状、寸法、位置、数量ならびに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目別運用表(建築工事)

検査職員用(3)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	II. 品質 建築工事		<input type="checkbox"/> ①材料・製品の品質が製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験および記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③材料の品質確認の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④品質の確認結果が分かりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥建具、ユニット等の性能および機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好あることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪中間検査や指定部分検査での工夫や良好な施工の品質が継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由：
	工事比率 1.00		(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による指示を行い改善された。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
評 価			
a: 品質が特に優れている。 a': 品質が優れている。 b: 品質が特に良好である。 b': 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。			
該当項目が90%以上 a 該当項目が80%以上90%未満 a' 該当項目が70%以上80%未満 b 該当項目が60%以上70%未満 b' 該当項目が50%以上60%未満 c 該当項目が50%未満 d	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100		
評価＝	項	項目	%

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質および品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルト方式等で建築工事、電気設備工事、給排水冷暖房工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種ごとに評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事費率は1.0とする。

考査項目別運用表(建築工事)

検査職員用(4)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	Ⅱ. 品質 電気設備工事		<input type="checkbox"/> ①機材の品質が承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験方法および記録の方法が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③機材の品質確認記録の内容が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④品質の確認結果が分かりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥施工の品質が試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦システムの性能および機能に関する試運転の確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧システムの性能および機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> ⑨不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩中間検査や指定部分検査での工夫や良好な施工の品質が継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪運転・点検上の表示および危険箇所などの表示等が明確でわかりやすい。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由：
	工事比率 0.00		(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
評 価			
a:品質が特に優れている。 a':品質が優れている。 b:品質が特に良好である。 b':品質が良好である。 c:品質が適切である。 d:品質がやや不適切である。 e:品質が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 a'	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が70%以上80%未満 b	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%以上70%未満 b'		
該当項目が50%以上60%未満 c		
該当項目が50%未満 d		
	評価＝	項	項目 %

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質および品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルト方式等で建築工事、電気設備工事、給排水冷暖房工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種ごとに評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事費率は1.0とする。

□ 考査項目別運用表(建築工事)

検査職員用(5)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	Ⅱ. 品質 給排水冷暖房工事	□	<input type="checkbox"/> ①機材のの品質が承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験方法および記録の方法が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③機材の品質確認記録の内容が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④品質の確認結果が分かりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥施工の品質が試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦システムの性能および機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧システムの性能および機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> ⑨不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩中間検査や指定部分検査での工夫や良好な施工の品質が継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪運転・点検上の表示および危険個所などの表示等が明確でわかりやすい。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由：
	機械設備工事 工事比率 0.00		(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
評 価			
a:品質が特に優れている。 a':品質が優れている。 b:品質が特に良好である。 b':品質が良好である。 c:品質が適切である。 d:品質がやや不適切である。 e:品質が不適切である。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 a'	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が70%以上80%未満 b	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
該当項目が60%以上70%未満 b'		
該当項目が50%以上60%未満 c		
該当項目が50%未満 d		
評価＝		項	項目 %

※1. 機械設備工事とは、エレベータ、エスカレータ設備工事等の建設業における機械器具設置工事を含む。

※2. 目的物の品質の水準を評価すること。

※3. 品質の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質および品質管理に関する各種の記録と設計図書を比較することにより技術的な評価を行う。

※4. デザインビルト方式等で建築工事、電気設備工事、給排水冷暖房工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種ごとに評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事費率は1.0とする。

品質の評価計＝	項目 %
---------	------

考査項目別運用表(建築工事)

検査職員用(6)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 建築工事	□	□ ①きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。
			□ ②関連工事(工種)または既存部分との調整がなされ、調和がよい仕上がりである。
			□ ③使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。
			□ ④仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。
	工事比率	□	□ ⑤色調が均一であり、色むら等がなく、全体的な美観が良好である。
	1.00	□	□ ⑥材料・製品の割り付けや通り等がよく、全体的な出来ばえが良好である。
		□	□ ⑦保身に配慮した施工がなされている。
		□	□ ⑧その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 出来ばえが劣っている。
評 価			
a: 全体的な完成度が優れている。 b: 全体的な完成度が良好である。 c: 全体的な完成度が適切である。			
d: 全体的な完成度が劣っている。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が80%未満 c	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
		④評価対象項目数が2項目以下の場合、すべて該当しても c評価とする。	
	評価=	項	項目 %

※1. 全体的な仕上がり状態、機能の評価すること。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置および関連工事等調和、目的物としての機能などについて観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. デザインビルト方式等で建築工事、電気設備工事、給排水冷暖房工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種ごとに評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事の評価するものとし、工事費率は1.0とする。

検査職員用(7)

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 電気設備工事	□	□ ①きめ細かな施工がなされている。
			□ ②関連工事(工種)または既存部分との調整がなされ、調和がよい仕上がりである。
			□ ③機器またはシステムとして運転状態が正常であり、性能が優れている。
			□ ④環境負荷への対策が優れている。
	工事比率	□	□ ⑤運転操作および保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
	0.00	□	□ ⑥その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 出来ばえが劣っている。
評 価			
a: 全体的な完成度が優れている。 b: 全体的な完成度が良好である。 c: 全体的な完成度が適切である。			
d: 全体的な完成度が劣っている。			
該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。	
該当項目が80%以上90%未満 b	②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	
該当項目が80%未満 c	③評価数(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100	
		④評価対象項目数が2項目以下の場合、すべて該当しても c評価とする。	
	評価=	項	項目 %

※1. 全体的な仕上がり状態、機能の評価すること。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置および関連工事等調和、目的物としての機能などについて観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. デザインビルト方式等で建築工事、電気設備工事、冷暖房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種ごとに評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事の評価するものとし、工事費率は1.0とする。

考查項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形および 出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 給排水冷暖房工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ①きめ細かな施工がなされている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ②関連工事(工種)または既存部分との調整がなされ、調和がよい仕上がりである。
	機械設備工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ③機器またはシステムとして運転状態が正常であり、性能が優れている。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ④環境負荷への対策が優れている。
	工事比率	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ⑤運転操作および保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
	0.00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ⑥その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			<input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。

評 価

a: 全体的な完成度が優れている。 b: 全体的な完成度が良好である。 c: 全体的な完成度が適切である。
d: 全体的な完成度が劣っている。

該当項目が90%以上 a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空欄のままとする。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価数(%)=(評価数/評価対象項目数)×100 ④評価対象項目数が2項目以下の場合、すべて該当してもc評価とする。		
該当項目が80%以上90%未満 b			
該当項目が80%未満 c			
	評価=	項	項目	%

※1. 機械設備工事とは、エレベータ、エスカレータ設備工事等の建設業における機械器具設置工事を含む。

※2. 全体的な仕上がり状態、機能を評価すること。

※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置および関連工事等調和、目的物としての機能などについて観察、計測等により技術的な評価を行う。

※4. デザインビルト方式等で建築工事、電気設備工事、給排水冷暖房工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種ごとに評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし、工事費率は1.0とする。

品質の評価計=	項目	%
---------	----	---